

ジェネリック医薬品を見直そう☆

お医者さんでもらうお薬（医療用医薬品）には、**同じ成分、同じ効き目**で、高い薬と安い薬があるのはご存知ですか？

高い方は、日本で最初に発売されたお薬（新薬）で**先発品**と呼ばれており、安い方は新薬の特許が切れた後に厚生労働省の承認を得て発売される薬で、**後発品**と呼ばれます。後発品は欧米では一般名（成分名）で処方される事が多いために**ジェネリック医薬品**とも呼ばれています。

ジェネリック医薬品とは？

医薬品には特許期間があり、その期間中他の製薬会社は同じ薬を製造販売する事はできません。しかし一定期間が過ぎて特許が切れると、他の製薬会社も同じ成分からなる同効の薬を製造販売できるようになります。これを**ジェネリック医薬品**と呼び、通常先発品より**低価格**にて提供されています。

ジェネリック医薬品とは、特許が切れた新薬と同じ成分、同じ効き目でお値段は約半額の医療用医薬品です。

要するに・・・

- ・ジェネリック医薬品は自己負担の軽減に役立ちます！！
- ・ジェネリック医薬品は今、注目されています！！



ジェネリック医薬品の意義

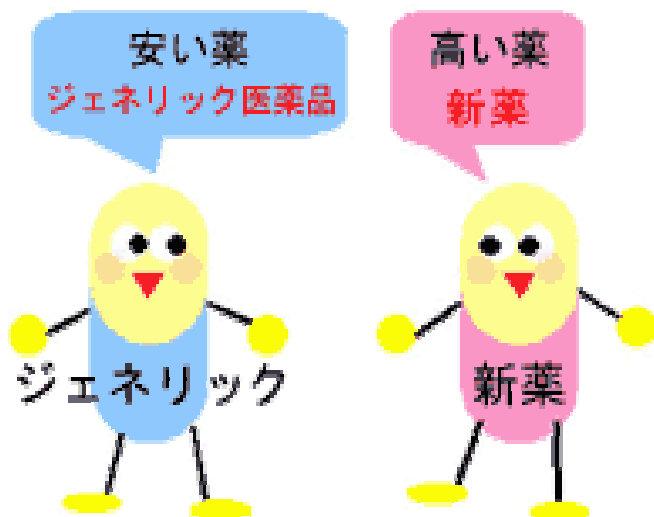
ジェネリック医薬品の公定価格(薬価)は通常、先発品薬価基準の40%~80%に定められていますので、**国の医療費及び患者さんの個人負担の軽減**に役立っています。現在、少子化や高齢化時代を迎えて高騰する一方の国民医療費が国庫や保険財政を圧迫しており、その抑制の役割を担うジェネリック医薬品社会的価値は益々高くなってきます。

医薬品先進国のジェネリック

先進国の欧米においては、既に医療費の抑制策にジェネリック医薬品が制度的に活用されており、処方される医薬品の半数近くまでがジェネリック医薬品で占めております。

国		日本	アメリカ	イギリス	ドイツ
医療用医薬品の価格制度		薬価基準	自由価格	償還払い	参照価格
シェア	数量ベース	11%	40%	43%	48%
	金額ベース	5%	17%	10%	31%

上記の表で日本が医薬品先進国に対し、遅れをとっているのが分かりますか？



30兆円(2000年)ともいわれるわが国の医療費の約20%を医薬品が占めています。1995年頃までの約30%に比べるとその割合が低下したとはいえ、約6兆円の金額です。このうち2兆2000億円ほどが後発医薬品の参入を見た医薬品です。これらを約50%ほど安価な**ジェネリックに代えれば1兆円ほどの薬剤費の節減**に繋がります。また、**患者様の自己負担が数千億円も軽減**されるのです。

これから益々使用促進が考えられるジェネリック医薬品。医療費節約のため、国の負担を軽減させるため、皆様もかかりつけのお医者様にご相談下さい！！